

第61回 建築士会全国大会「さいたま大会」のご案内

歴史に感謝 未来に約束

今 埼玉に集う 彩り豊かな暮らしの創造

江口満志 | 第61回建築士会全国大会さいたま大会 主管
一般社団法人 埼玉建築士会 会長



埼玉県は関東平野の西部に位置する内陸県で、県西部に関東山地に属する秩父山地と盆地が形成され、東方に向かって徐々に丘陵地と台地が広がり、県央から県東部にかけては武蔵野台地、大宮大地が広がり「みどり豊かな都市」とともに県民730万人が暮らす東京圏です。鉄道網、道路網が発達しており、新幹線は東北・秋田・山形・上越・北陸に続いて、北海道新幹線が開業、高速道路は常磐道・東北道・関越道・中央道・東名高速をつなぐ首都圏中央連絡自動車道が完成、交通の要衝として便利になっています。県内唯一の重要伝統的建造物群保存地区である川越には、年間700万人以上の観光客が訪れ、小江戸川越の城下町文化の名残が、市内各所に点在しています。

開催都市のさいたま市は、日本を代表する伝統的な文化芸術の盆栽や岩槻の人形、鉄道博物館、大宮盆栽美術館、2000年以上の歴史を持つと言われる武蔵一宮氷川神社は日本でも有数の古い神社です。浦和周辺は、さいたま市の伝統産業でもあるうなぎ料理店、スイーツのお店や和菓子店など食の分野や文教都市としても見逃せません。さいたま新都心周辺には、さいたまスーパーアリーナ、けやき広場やショッピングモールに多くの方が集まります。

来年の4月に新元号に変わる大きな歴史の転換期にあたり、新しい文化の創造と新たなまちづくりの対応が求められます。そこで、未来に向けた決意を、ここ「さいたま」の地から発信します。

先祖代々受け継がれてきた暮らしの知恵、その中でも住環境のしつらえに、われわれ建築士は心血を注いでまいりました。それらの偉業に心より尊敬・感謝の意を表し、その環境を守り改善していくことが、建築士の役目の一つであると考えております。

さらに、子どもたちに素晴らしい未来を手渡せるよう住環境を整え、見守り、育てていくことに力を尽くすことも、われわれ建築士に課せられた使命といえるでしょう。

平成30年に開催される建築士会全国大会「さいたま大会」は、この流れゆく歴史の一コマを、この埼玉の地で皆様とともに発見・再現・創造していきたいと思っております。

先人の知恵に感謝し子どもたちに明るい未来を約束するため
今、埼玉に集う建築士は彩り豊かな生活と環境を創造する

「歴史に感謝 未来に約束」

～ 今 埼玉に集う 彩り豊かな暮らしの創造 ～

というテーマを掲げて開催させていただきます。全国から多くの建築士の皆様のご参集を心よりお待ちしております。その仲間たちと市民の皆様を、われわれ埼玉建築士会全会員でおもてなしさせていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。



彩の国さいたま

埼玉に対する親しみや愛着を高めるため、埼玉県の愛称として「彩の国」(さいのくに)が選定されました。「彩の国」の「彩」は、いづれや美しさを表す言葉で、四季折々の色彩豊かな自然に恵まれ、産業、文化、学術などさまざまな分野で発展する多彩な国、埼玉県を表現しています。

「彩の国キャンペーンマーク」は、愛称「彩の国」の一層の普及を図るため、1993年11月14日に選定されました。このマークは、3人が手を取り、肩を組み合い、楽しく元気に前へ進もうとしているイメージを表現しています。各色は、「夢がいっぱい」=ブルー「元気がいっぱい」=レッド「自然がいっぱい」=グリーン」を表しています。